

# 今、子どもたちのためにできること (教職員用リーフレット)

## 子どもたちのストレス

現在、私たちは、今まで経験したことがないような厳しい状況に置かれています。エネルギーに満ちあふれた子どもたちの行動が大きく制限され、日毎にストレスが蓄積されていくことが懸念されます。また、経済の悪化にともない厳しい状況にある家庭では、子どもたちも当然、そのことを感じ取り深刻に悩んでいる場合があると思われます。そして、今後、学校の再開が決まれば、喜ぶ子どもたちがいるのと同時に、再開の日に向けてストレスを高め、不安を抱える子どもたちがいることにも留意する必要があります。

## 子どもの状況の把握

学校の電話回線の数など様々な制約があると思いますが、休校中は子どもたちと1対1の強固な関係を築くチャンスでもあります。先生方の経験を生かし、子どもたちのケアをお願いします。効果的な取り組みなどを、校内で情報共有しておくことで、先生方の安心につながります。子どもに関わる際、次のようなことも参考にしてください。

### ○子どもたちの話に耳を傾ける

連絡を取る際に、子どもたちが答えやすいような問いかけをいくつか考えておき、うまく水を向けてください。そして「そうなんだ」「そうか」など頷きながらゆっくり話を聴いてください。あまり話さない子どもでも、じっくりと話し始めるのを待ってください。あまり話さない子どもは、人の話を聴く経験のほうが圧倒的に多いのですが、相手が本当に話を聴いてくれる人だとわかるとびっくりするくらい話をしてくれることがあります。いずれの場合も、じっくりと子どもたちの話を聴くことが大切です。

### ○子どもたちをほめる

新学期が始まっても、実際には対面しての活動がほとんどありませんので、具体的な子どもたちのよい点を見つけにくいかもしれません。それでも、何度か電話等でやりとりする中で、ほんの一言からわかってくることもあると思います。例えば、小説「二十四の瞳」の中で、主人公の先生が、受け持ちの子ども（小学生）に将来の希望を書かせたところ、ある子どもが「教師」と書いたことを見過ごさず、「子どもらしく先生と書かずに、教師と書いたところに早苗の精いっぱいさがあり、甘っちょろいあこがれなどではないものを感じさせた。」と書いている部分があります。子どもの言葉や行動などちょっとした気づきや関心が子どもたちを勇気づけます。

### ○「ゆっくりとあせらず」安心感を伝える

急激な変化に心も体もついて行けず、しんどい思いをしている子どもが多くいると考えられます。学校再開時には（再開が決まったときから）特に注意が必要です。不安が高まるのは当たり前だということ、しんどいときは少し止まって、またゆっくりと動き出せばよいこと「ゆっくりで大丈夫だよ」ということを先生方の言葉で伝えてください。

## ○心配なことがあったら必ず相談するように伝える

子どもたちに心配なことがあったら必ず相談するよう伝えてください。「相談するように伝える」とは、具体的には「相談すると何か良い方向に向かうかもしれない」と子どもに感じさせることです。その子どもの悩みを一緒に背負うことを伝えることです。もちろん先生一人が背負うのではなく、一人の先生の気づきを学校で共有し、そこにスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、スクールロイヤーなど様々な専門家が関わり、福祉や医療とも協力し（教育で気づき、福祉が対応の主となる場合もあります。）、教育委員会が責任を持って対応することです。その私たちの覚悟を粘り強く伝えて、相談につなげてください。

## ○子どもたちのSOSをキャッチしよう(違和感を感じたら)

子どもたちと会った時だけでなく、電話で話した時に、何か違和感（とても元気がない、普段になく乱暴で話を早く終わらせようとする、何かを言い出そうとして止めたなど）を感じたら、直接、会って状況を確認し、組織で情報を共有して対応を検討してください。対応に迷うときは教育委員会に相談してください。

子どもたちのストレスが自分に向かって、自分を傷つけたり、友達に向かって、いじめが発生するなどとても心配です。

- ・しっかりと話を聞いてもらうだけでストレスは大きく軽減されます。
- ・自分を認めてほめてくれる人が近くにいると心が安定し、攻撃性が大きく減少します。
- ・相談を受け止める確かな大人が近くにいると安心します。

学校、家庭、教委委員会が中心となって地域や関係機関と協力して子どもたちを丁寧に見守りしっかりと支援していきましょう。

### (相談先)

◇子どもと親のサポートセンター 0120-415-446 (24時間)

◇24時間子どもSOSダイヤル 0120-0-78310 (24時間)

◇Eメール相談 saposoudan@chiba-c.ed.jp

◇SNS相談@ちば(LINEを使った相談窓口 中高生対象)



(SNS相談@ちばQRコード)

### (児童虐待の疑いがあると感じた時には)

- ・直ちに管理職に相談し、速やかに市町村の虐待担当課や児童相談所に通告してください。

(詳しくは「教職員のための児童虐待対応の手引き」を参考に対応してください。)

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/jisei/jinkennyouiku/gyakutaitebiki.htm>

(教職員のための児童虐待対応の手引きQRコード)



チーバくん